

TransView 使用説明書

目 次

1. 概要	3
2. 主要機能	3
3. 環境及びインストール手順	4
3-1. 動作環境	4
3-2. インストール	4
3-3. アンインストール	4
3-4. ライセンス登録	4
4. 画面説明	5
4-1. 「入力」画面	5
4-2. 「出力」画面	7
5. 操作方法	8
5-1. 画像読込 ※入力タブ	8
5-2. グリッド調整 ※入力タブ	9
5-3. パラメータファイルの保存 ※入力タブ	11
5-4. 出力画像の確認、画像サイズの調整 ※出力タブ	11
5-5. 座標変換テーブルデータの出力 ※出力タブ	12
5-6. 補正後画像のコピー・保存 ※出力タブ	13
5-7. グリッド表示の設定 ※入力タブ	14
5-8. グリッドの領域設定機能(β 版機能) ※入力タブ	15
6. 問合せ先	16
7. ベクターでの購入	16

1. 概要

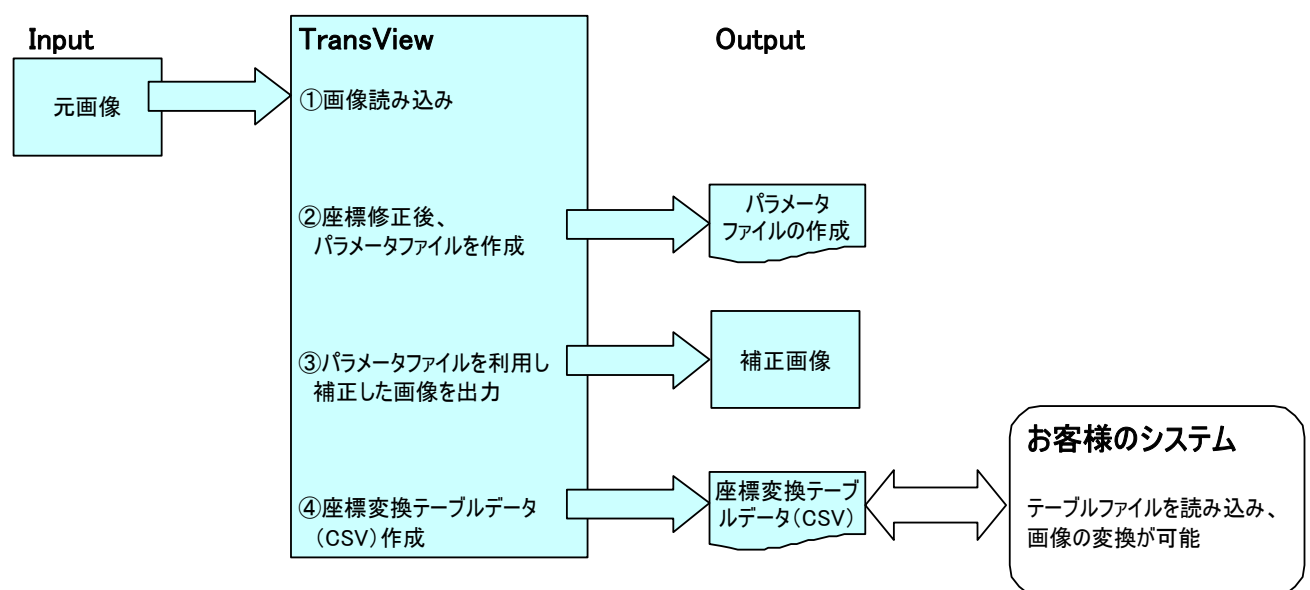
本製品は画像を読み込み、歪みの補正や変形を行うソフトです。

2. 主要機能

TransView には、大きく 2 つの機能があります。

- ① 画像を読み込み、補正したい部分の座標を自由に移動して画像の歪み補正や変形を行う事が出来ます。
※画像の「サイズ」や「部分的切り出し」についても自由に調整が可能です。
- ② 「座標変換テーブルデータ」を作成して保存する事が出来ます。座標変換テーブルデータには、結果画像「1 画素毎」に元画像のどの座標からデータを移動してきたかという情報が入っています。
※座標変換テーブルデータを利用すれば、他のシステムでデータを読み込み、画像を補正させる事が可能です。
「座標変換テーブルデータ」の詳細は P11 ページを参照して下さい。

<全体イメージ図>



3. 環境及びインストール手順

3-1. 動作環境

32bit/64bit 版 Windows 10 で動作します。

3-2. インストール

製品 CD-R の Setup.exe を実行し、画面の案内にしたがってインストールしてください。

3-3. アンインストール

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から「TransView」を選択して削除してください。

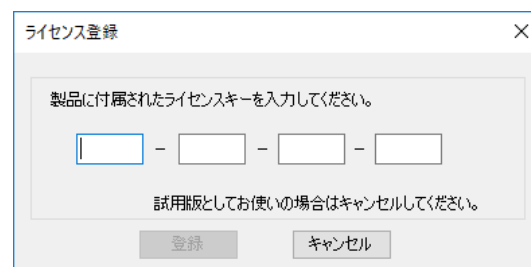
※古いバージョンのソフトをインストールされている方は、アンインストールを行って新しいバージョンのソフトをインストールして下さい。Ver1.0 の場合、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」には「座標変換テーブル作成」と表記されますのでご注意下さい。

3-4. ライセンス登録

ライセンス未登録の場合、プログラムを起動すると、ライセンス登録画面が表示されます。

製品保証書に記載されている「ライセンスキー番号」を入力して「登録」ボタンを押してください。

ライセンスキーが正しい場合には完了メッセージが表示されます。



※ 【キャンセル】ボタンを押下すると、ライセンス未登録となります。

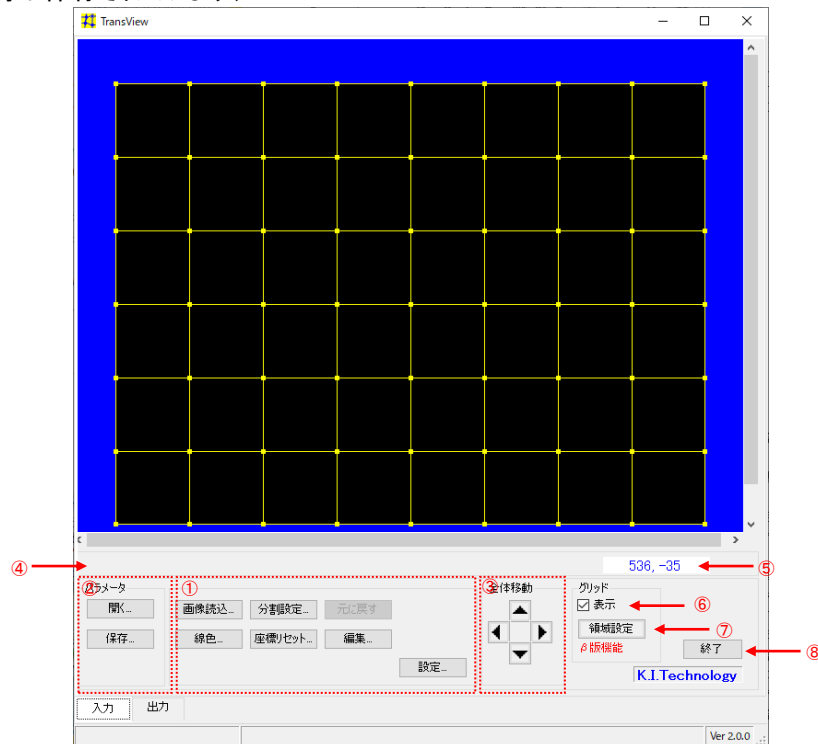
ライセンス未登録の状態では、試用版として動作します。

(試用版は一部の機能のみ使用可能となります)

4. 画面説明

4-1. 「入力」画面

入力画面は画像を読み込み、座標位置の調整、座標位置をパラメータファイルとして保存する為の画面です。パラメータファイルとは、本製品が画像を変換する際に必要となるファイルです。(グリッド座標の移動情報や画像サイズの情報等が保存されています)



①画像表示部

- ・【画像読み込み】ボタン 画像を開いて、画面上(上記黒部分)に表示します。
- ・【分割設定】ボタン グリッドの分割数を設定する画面を開きます。**※試用版では使用出来ません。**
初期状態の分割数:横(X)8 縦(Y)6 (1×1～32×32 の設定が可能です)
- ・【線色】 グリッドの線の色を設定する画面を開きます。(初期状態の色:黄色)
- ・【座標リセット】 グリッドの座標、分割数を初期状態に戻します。
- ・【元に戻す】ボタン グリッドの座標を 1 段階元に戻します。
- ・【編集】 グリッド座標の編集画面を開きます。(数値で編集する画面です)
- ・【設定】 一部の設定を変更します。

②パラメータ部

- ・【開く】ボタン 「パラメータファイル」を開いて画面にセットします。
- ・【保存】ボタン 「パラメータファイル」に保存します。

③全体移動部

グリッド全体を上下左右に移動します。各ボタンを押した状態を維持すると、連続で押したボタンの方向にグリッド全体が移動します。

④パラメータファイル名

開いている「パラメータファイル」のファイル名を表示します。

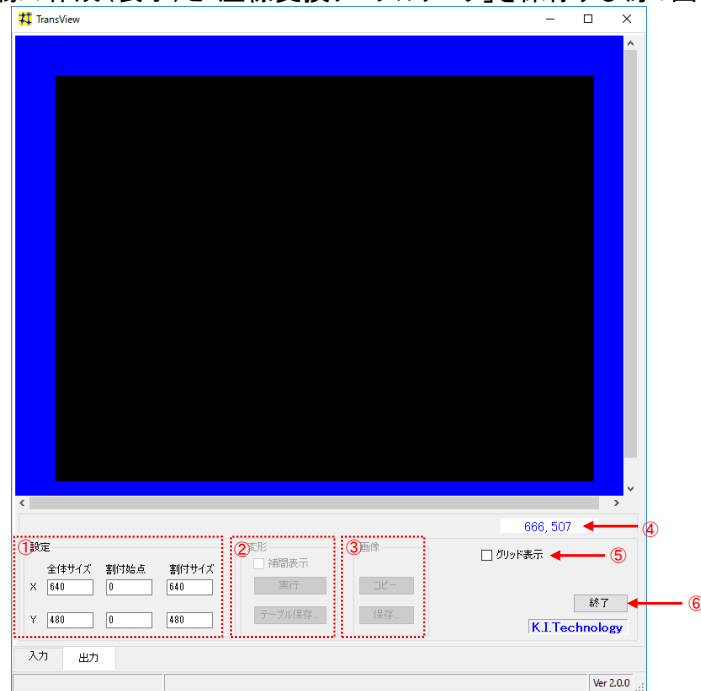
⑤座標位置

マウスポインタの座標位置を表示します。(X 座標,Y 座標)

- | | |
|---------|----------------------------------------------------|
| ⑥グリッド表示 | チェック有で、画面上にグリッドを表示します。
チェック無で、画面上のグリッドを非表示にします。 |
| ⑦領域設定 | グリッドを設定する範囲を指定します。 ※β版機能です |
| ⑦終了 | アプリケーションを終了します。 |

4-2. 「出力」画面

出力画面は、変形画像の作成(表示)と「座標変換テーブルデータ」を保存する為の画面です。



①出力画像サイズ 設定部

- ・「全体サイズ-X」入力欄
- ・「全体サイズ-Y」入力欄
- ・「割付始点-X」入力欄
- ・「割付始点-Y」入力欄
- ・「割付サイズ-X」入力欄
- ・「割付サイズ-Y」入力欄

※試用版では設定を変更出来ません。

キャンパスの横(X)サイズの入力欄です。(黒部分の横サイズ)
 キャンパスの縦(Y)サイズの入力欄です。(黒部分の縦サイズ)
 画像開始位置-横(X)の入力欄です。
 画像開始位置-縦(Y)の入力欄です。
 画像の横(X)サイズの入力欄です。
 画像の縦(Y)サイズの入力欄です。

②変形部

- ・「補間表示」チェックボックス
- ・【実行】ボタン
- ・【テーブル保存】ボタン

チェック有の状態【実行】ボタンを押下すると補間処理画像を表示します。
 入力画面で補正した結果を画面に表示します。
 「座標変換テーブルデータ」としてファイルに保存します。

③画像部

- ・【コピー】ボタン
- ・【保存】ボタン

キャンパス全体をクリップボードにコピーします。
 キャンパス全体をビットマップファイルに保存します。

④座標位置

マウスポインタの座標位置を表示します。(X 座標,Y 座標)

⑤グリッド表示

チェック有で、画面上にグリッドを表示します。
 チェック無で、画面上のグリッドを非表示にします。

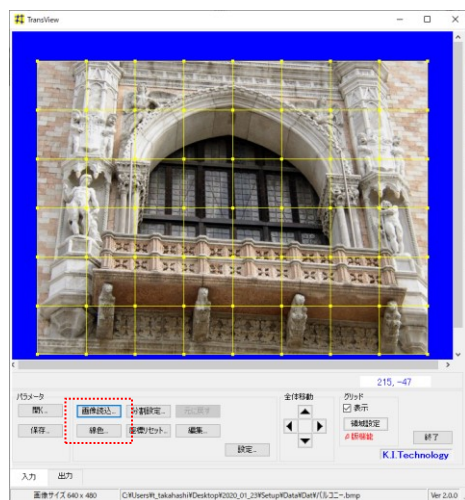
⑥終了

アプリケーションを終了します。

5. 操作方法

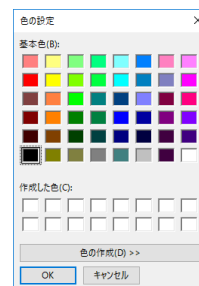
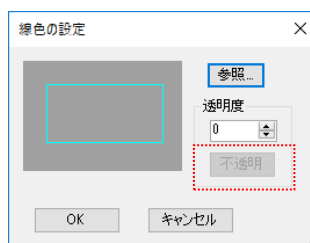
5-1. 画像読込 ※入力タブ

＜入力画面＞



- ・入力タブを選択します。
- ・【画像読込み】ボタンを押下し、ビットマップファイルを選択して画像を表示します。
- ・必要に応じて、線色ボタンを押下しグリッドの線の色や透明度を変更します。
- ・【不透明】ボタンを押下すると、線色の透明度をもとの不透明状態に戻すことができます。透明度の値は 0 にリセットされます。

＜線色の指定画面＞



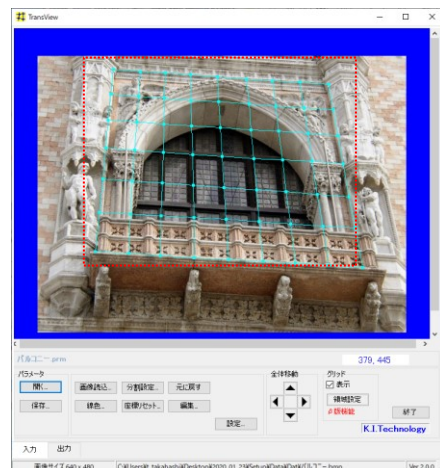
5-2. グリッド調整 ※入力タブ

＜入力画面＞



- ・全体移動ボタンを押下し、上下左右にグリッドを移動させます。グリッド内の画像部分のみが補正後の画像として出力されます。

＜入力画面＞



- ・マウスでグリッド座標を手動で移動し、調整を行います。
(左記の例では、斜めになっている窓の部分をもっすぐに補正したい為、グリッド位置を窓枠に合わせて設定しています。)
- ・マウス左ボタンをクリックすると一番近いグリッド座標にマウスポイントが移動します。座標を移動したい場合は、左クリックをした状態のまま座標の移動を行って下さい。
- ・Ctrl キーを押しながらマウスを移動すると、水平または垂直方向のみに移動します。
- ・マウスで左クリックをした状態のまま、上下矢印キーを押すと、グリッドがそれぞれの方向に移動します。

＜入力画面＞



- ・グリッド座標を数値で編集したい場合は、【編集】ボタンを押下してグリッド座標編集画面を表示します。

＜グリッド編集画面＞



- ・グリッド編集画面では、直接数値を修正する事より、グリッドの座標位置の補正が可能となります。

＜画面説明＞

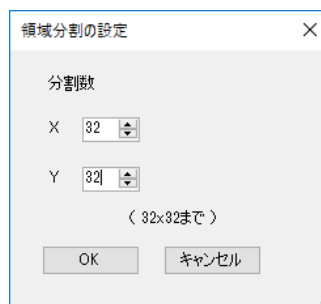
グリッド座標毎に座標位置を横(X)、縦(Y)で表示します。
左記例では、左上のグリッド座標「0,0」の座標位置は(130,23)となっている事を表しています。

※座標の表示個数は、分割数設定により変わります。

＜入力画面＞



- ・入力画面の【分割設定】ボタンを押下すると、グリッドの分割数を変更する為の「領域分割の設定」画面が表示されます。
グリッドの分割数は、1×1～32×32 迄の設定が可能です。



5-3. パラメータファイルの保存 ※入力タブ

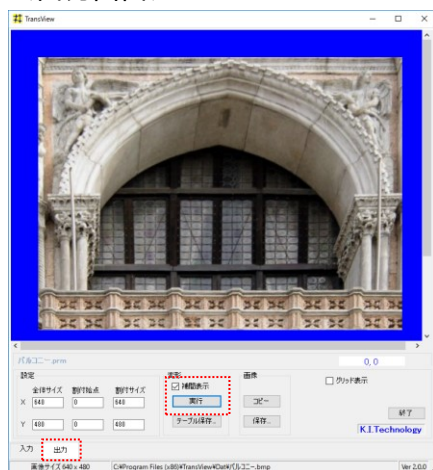


・補正したグリッド座標やその他の設定情報は、パラメータファイルとして保存出来ます。入力画面【保存】ボタンを押下するとファイル保存画面を表示します。

・保存したパラメータ情報は、【開く】ボタンを押下してファイルを指定する事により、画面上に表示させる事が可能です。

5-4. 出力画像の確認、画像サイズの調整 ※出力タブ

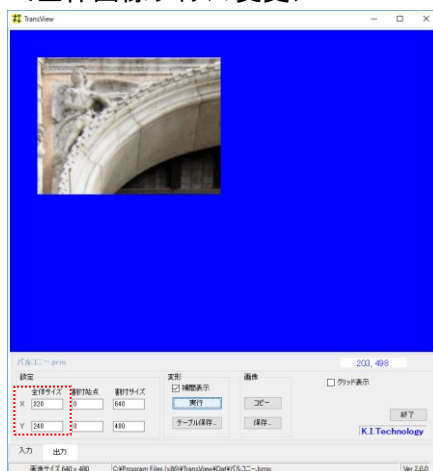
＜出力画面＞



・出力タブを選択します
 ・【実行】ボタンを押下すると、補正後の画像が表示されます。この際、「補間表示」チェックボックスをチェック有にし、【実行】ボタンを押下すると、補間処理済の画像を表示します。

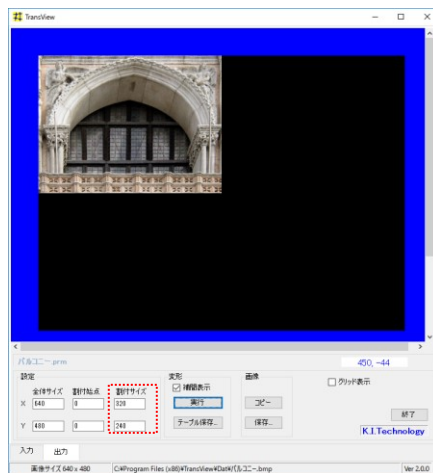
・変換後の画像サイズは 4096 × 4096 以下となります。

＜全体画像サイズの変更＞



・全体サイズ横(X)、縦(Y)の入力欄に例えば 1/2 サイズの値を入れて【実行】ボタンを押下すると、左記の様に画像を表示するキャンパス部分の縦横のサイズが 1/2 に変更されます。

＜割付サイズの変更＞



- ・割付サイズ横(X)、縦(Y)の入力欄に例えば 1/2 サイズの値を入れて【実行】ボタンを押下すると、表示画像の縦横のサイズが 1/2 縮小されます。キャンパス部分のサイズは変更されません。

＜割付位置の変更＞



- ・割付始点の横(X)、縦(Y)の値は、表示画像左上の位置を示します。左記の例は、割付始点の横(X)、縦(Y)にキャンパス画像サイズの 1/2 の値を入力した結果になります。

5-5. 座標変換テーブルデータの出力 ※出力タブ

＜出力画面＞



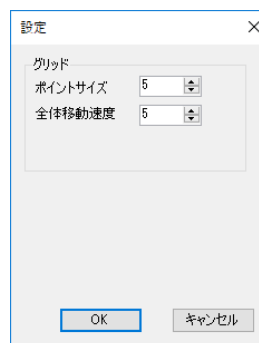
- ・座標の変換情報は、「座標変換テーブルデータ」として CSV ファイルに保存する事が可能です。
- ・【テーブルに保存】ボタンを押下すると、データの保存先が表示されます。画面に従ってファイルの保存を行って下さい。

5-7. グリッド表示の設定 ※入力タブ

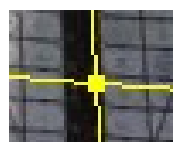
＜入力画面＞



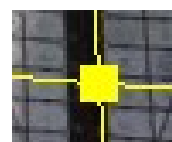
- ・【設定】ボタンを押下すると、下記の設定ウィンドウが表示され、表示グリッドに対しての設定を行うことができます。



- ・ポイントサイズ: グリッドの各頂点の大きさを変更します



ポイントサイズ = 5



ポイントサイズ = 11

- ・全体移動速度: 全体移動のボタンを長押しした場合のグリッド全体の移動速度を変更します。



長押しをしたときの、グリッド全体の連続移動の速度が変更されます

5-8. グリッドの領域設定機能(β 版機能) ※入力タブ

＜入力画面＞



- ・【領域設定】ボタンを押下すると、グリッドの全体範囲を任意の位置に設定することができます。この機能では、グリッドの全体範囲を設定したい領域に対して、四角形領域の4点を設定することにより、その領域内にグリッドの各頂点を自動設定することができます。



- ・【領域設定】ボタンを押下すると、領域設定機能が有効となり画面上のグリッド表示が4つの頂点のみに切り替わります。また、領域設定機能の有効中は【領域設定】ボタンが、赤色の【設定完了】ボタンに切り替わります。



- ・表示されている4つの頂点を移動させ、グリッドを設定したい四角形の領域を設定します。



- ・4つの頂点を移動させ、四角形の領域の設定完了後、【設定完了】ボタンを押下します。【設定完了】ボタンを押下すると、設定した四角形の領域内に、設定した4つの頂点を基準として、グリッドの各頂点が自動設定されます。

6. 問合せ先

株式会社ケーアイテクノロジー

サポート係

Mail: support@kitech.co.jp

ホームページ: <https://www.kitech.co.jp/>

TEL: 045-548-4891 FAX: 045-548-4892

7. ベクターでの購入

ユーザー登録をして頂く為には、ベクター・シェアレジに下記の方法でご送金頂く必要があります。

ベクター「シェアレジ」での送金

株式会社ベクターの シェアウェア送金代行サービス「シェアレジ」を利用すると、セキュリティで保護された Web サイト上で、クレジットカードや、@Nifty の iREGi(<http://iregi.com/>) サービスなどを利用したお支払いが可能です。詳しくは以下 URL をご覧ください。

<https://s.shop.vector.co.jp/service/>